
手をとって走りだす

Shimo

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

手をとって走りだす

【Nコード】

N5322C

【作者名】

Shimo

【あらすじ】

少年と少女はひたすら逃げる。ヒムは許さない…。ヒムからは逃げられない…。

少年と少女は何かから逃げている

誰も助けることはできない

目を伏せ、祈ることしかできない

彼らはヒムに追われている

ヒムは獲物を逃さない

どこまでもついて来る

2人は教会へと逃げ込む

扉をノックする音

ひとつ、ふたつ、みつつ…だんだんとノックする音は増えていく

ステンドグラスは激しく揺れ、ローソクの炎が一斉に消える

夕日によって大きく伸びた少女の影はゆっくりと起き上がり、ヒムが現れる

2人はまた走り出す

2人は岩場に隠れて息を殺している

しかし、少女の吐息を聞きつけたヒムは、岩から染みでて2人の背後に現れる

2人はまた走り出す

少年は少女の手をとって緑の高野をひたすら走る

少年は息ひとつ切らさない

ヒムはすぐ後ろをぴったりとついて来る

ヒムが通り過ぎた場所は草が枯れ、動物は息絶えた

陽が落ち始めてくる

もうすぐ、ヒムの時間がやってくる

2人は足を止める

目の前には大きな崖が広がっている

ヒムはもうすぐ後ろに立っている

ひたひたと近づいてくる

少年は少女を守ろうと、ヒムの前に立ちふさがる

ヒムはニタリと笑う

耳まで裂けた口がとても不気味だった

ヒムは宙に浮き、ものすごい勢いで少年に突進して来る

少年は身構える

しかし、ヒムは少年を通り抜けて、その先にいた少女の体にとけ込んでいき消えていく

すると、少女の目は見る見るうちに生気を失いその場に倒れ込み、息絶える

少年は少女の元に駆け寄り、強く揺する

しかし、少女はまったく動かない

少女を抱えた少年の手は少女の肌がとても冷たくなってしまったことがわからない

少年はロボットだった

少年は死ぬことも泣ければ涙を流すことも出来ない

しかし、少年は泣いている

悲しみが少年に涙を流させる

涙は頬を伝い落ち、不思議なことに涙は少年の錆びた体を見る見るうちに肌色の人間の皮膚へと変えていく

奇跡が起きた

少年はとうとう夢だった人間の子供になれた

しかし、少年は泣き続けている

嬉し涙ではない

少年には自分よりも大切な人がいた

何かの犠牲の上に成り立った幸せに意味などない

少年の腕の中の少女は少年にとって命より大切な人だ

しばらくして、突然、少女の体が黒く光だす

少女の体から黒い霧が吹き出し、それは見る見るうちに人の形へと変化する

そして、ヒムが生まれる

しかし、少年は逃げない腕の中の少女を強く抱きめしる

そして、少年は立ち上がり、ヒムの前に立ちふさがる

少年の目からもう涙は流れていない

少年は掛け声とともにヒムへと突進する

ヒムはニタリと笑った…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5322c/>

手をとって走りだす

2010年12月26日14時08分発行